

DI (Diffusion Index=景気動向指数) とは
各調査項目について、好転企業割合から、悪化企業
割合を差し引いた値を示し、景気の現状把握や将来
の見通し予測を行う。

DIがプラスなら……好転、上昇基調
DIがマイナスなら……悪化、下降基調

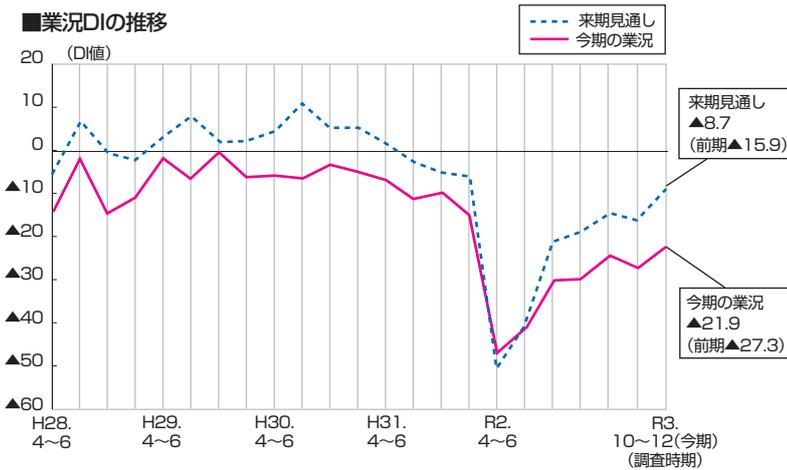
記号の見方

DI値	-25P以下	-25~ -10P未満	-10~ 10P未満	10~ 25P未満	25P以上
景況	特に悪化 ↓	悪化 ↘	横ばい →	好転 ↗	特に好転 ↑

鹿児島商工会議所 景況調査

調査期間 令和3年10~12月
回答企業数 129社

■業況DIの推移



全産業で依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが見られる

【今期(令和3年10~12月期)の業況】
全産業の業況DI値は、▲21・9
(前期比プラス5・4ポイント)で、
全産業で改善がみられた。

【来期(令和4年1~3月期)の見通し】
全産業の来期見通しは、▲8・7
(前期時の来期見通し(▲15・9)
と比較してプラス7・2ポイント)
で改善。慎重な見通しが継続してい
るものの、業況回復への期待感もう
かがえる結果となった。

■産業別DI値表

業況	前期 [R3.7~9] (A)	今期 [R3.10~12] (B)	増減 (B)-(A)	来期見通し [R4.1~3]	
				値	変化
全産業平均	▲27.3	▲21.9	5.4	▲8.7	→
製造業	▲35.5	▲23.1	12.4	▲15.4	↘
建設業	▲36.4	▲33.3	3.1	▲35.0	↓
卸売業	▲25.0	▲22.2	2.8	0.0	→
小売業	▲30.4	▲30.0	0.4	▲13.8	↘
サービス業	▲13.9	▲6.1	7.8	11.8	↗
売上額	▲23.8	▲25.0	▲1.2	▲7.0	→
製造業	▲28.1	▲34.6	▲6.5	▲24.0	↘
建設業	▲42.9	▲30.0	12.9	▲38.1	↓
卸売業	▲17.6	▲33.3	▲15.7	11.1	↗
小売業	▲33.3	▲20.0	13.3	▲10.0	→
サービス業	▲5.6	▲14.7	▲9.1	17.6	↗
資金繰り	▲11.6	▲10.9	0.7	▲3.1	→
製造業	▲21.9	▲23.1	▲1.2	▲16.0	↘
建設業	▲13.6	▲9.5	4.1	▲23.8	↘
卸売業	0.0	0.0	0.0	▲5.6	→
小売業	▲22.7	▲26.7	▲4.0	▲3.3	→
サービス業	0.0	5.9	5.9	20.6	↗
採算	▲25.2	▲27.9	▲2.7	▲16.4	↘
製造業	▲40.0	▲38.5	1.5	▲38.5	↘
建設業	▲45.5	▲33.3	12.2	▲38.1	↓
卸売業	▲5.9	▲27.8	▲21.9	▲5.6	→
小売業	▲30.4	▲36.7	▲6.3	▲17.2	↘
サービス業	▲5.7	▲8.8	▲3.1	8.8	→

【今期の売上額・資金繰り・採算】
全産業の売上額DI値は、▲25・0
(前期比マイナス1・2ポイント)で、前期とほぼ変わらなかったが、業種によって明暗が分かれた。
全産業の資金繰りDI値は、▲10・9
(前期比プラス0・7ポイント)で、ほぼ横ばいとなった。
全産業の採算DI値は、▲27・9
(前期比マイナス2・7ポイント)
で、わずかに低下したが、業種別に見ると卸売業は大きく悪化した。

【回答企業のコメント】

- ・燃料費や原材料費の高騰、材料の納品遅れ等が発生しており、今後の課題として懸念される。(建設)
- ・催事の開催制限に加え、商品の仕入単価上昇など厳しい状況が続いている。コスト削減に取り組むとともに、販促方法の見直しを検討中。(卸売)
- ・年末商戦での売上確保に努めたい。(小売)
- ・コロナ関連の規制解除後の顧客の戻りが想定よりも鈍い。県外客が見込める年末年始に期待したい。(サービス)